



山崎 大介 (音声学)

ここは「富山」です！

みなさんは、「富山」と言えば何を思い浮かべますか？

「黒部ダム」、「越中富山の薬売り」、「立山黒部アルペンルート」、「ホタルイカ」などでしょうか？

私の場合は、これまで、おそらく、「富山」と「ますのすし」をよく関連付けてきたかもしれませんが。実際、幼少期に、スーパーマーケットで売られていた富山の駅弁「ますのすし」を見た記憶がわずかにありまして、それが「富山」を知るきっかけになったようにも思われます。

この「富山」には、360度見渡せば、どこかに山が見えるかもしれないほど、自然豊かな環境にあります。初めて「クマ出没注意」の看板を見た時には少し驚きましたが、それだけ自然と共存しているということを改めて実感するかもしれません。

2015年3月には、北陸新幹線の長野と金沢間が開業して、ここ「富山」にもすべての列車（速達タイプの「かがやき」号；基本的に各駅へ停車する「はくたか」号；富山より以西を各駅に停車する「つるぎ」号）が止まるようになりました。そして、2024年3月には、福井県の敦賀まで延伸され、移動がより便利になりました。

関東方面からは、「かがやき 501号」であれば、午前6時16分に東京駅を出発後、上野、大宮、長野に停車して、「富山」には午前8時23分に到着します。乗車時間は2時間あまりですので、週末を利用して富山へ遊びに来ることも可能かと思われます。また、関西方面からは、「サンダーバード1号」で午前6時30分に大阪駅を出発して、敦賀に午前7時54分に到着します。そこから「つるぎ2号」で午前8時6分に出発すれば、午前9時13分に「富山」へ到着します。途中で乗り換える必要はありますが、大阪から3時間以内で富山に来ることができます。

皆様におかれましては、こうした便利になりつつある「富山」に是非ともお越しいただき、海の幸や山の幸などをご堪能いただくだけでなく、黒部峡谷や世界遺産の五箇山など観光でもお楽しみいただき、この「富山」でたくさんの思い出をお作りいただけましたら幸いです。



【県立大学の中央棟9階から「立山」方向を望む】